

発生日時	平成 22 年 4 月 6 日 (火)	11 時 30 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	光ケーブル損傷
事故概要	バックホウを旋回させる際に、埋設されていた光ケーブルを引っ張り、損傷させたもの。			

事故発生状況



損傷状況

旋回するために、バックホウのバケットを堤防天端に差し込み、方向転換を行った。その後、バケットを斜め上方に引き上げた際、FEP管を引っ張ったことにより、光ケーブルを損傷。

【事故発生原因】

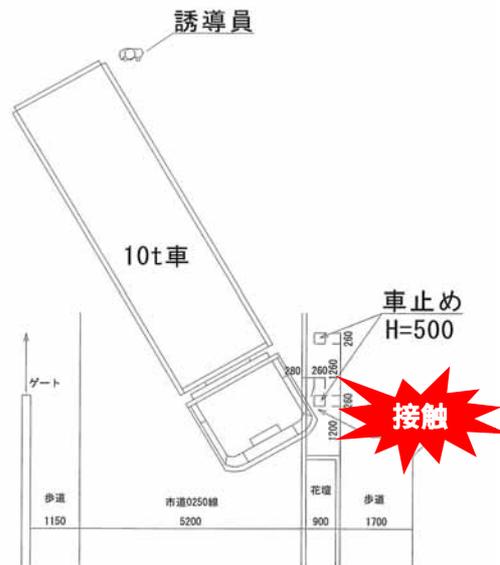
・光ケーブル埋設箇所にバックホウのバケットを差し込んで方向転換しようとしたため。

【事故防止のポイント】

・埋設箇所の表示 など

発生日時	平成 22年 4月 9日 (金) 15時 40分			天候	晴
工事情報	菅繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	市所有の石柱損傷	
事故概要	仮設材搬出車両(10t)をバックで入場させる際に、車両の左前部分が歩道の石柱に接触し、倒したものを。				

事故発生状況



損傷状況

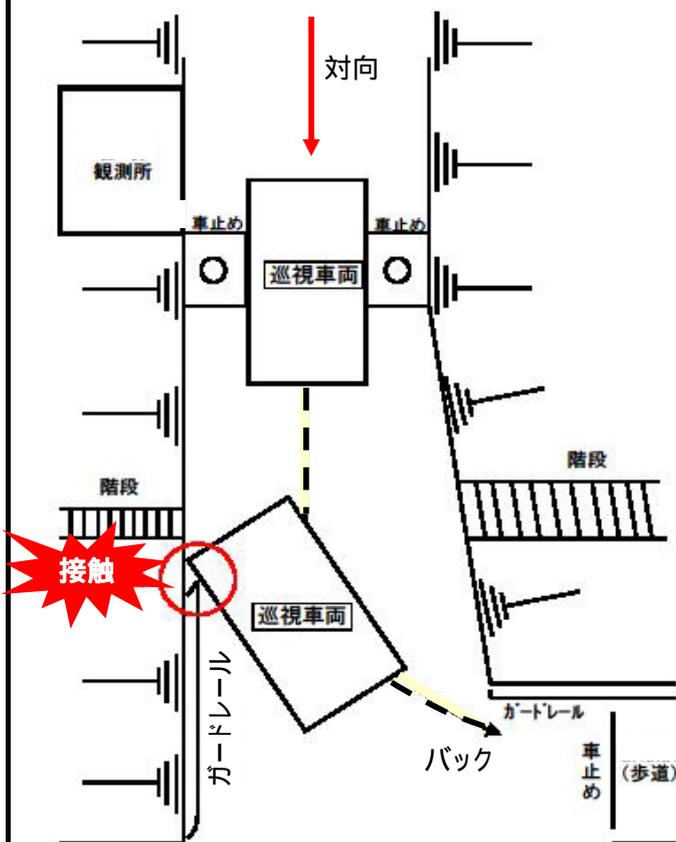
バックで現場に入場する際に、車両の左前部分が歩道の車止め石柱に接触し、転倒

【事故発生原因】
 ・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】
 ・工事関係車両が出入りする際の方法について運転手に対して周知徹底する。
 など

発生日時	平成 22 年 4 月 13 日 (火) 13 時 45 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	管理車両バンパー損傷		
事故概要	河川巡視中、堤防を走行中に対向車が来て、道を譲るためにバックしたところ、ガードレールに接触し車両バンパー部を損傷させたもの。		

事故発生状況



損傷状況

車止めの箇所まで進んだところ、対向車が来たため、バックした。その際、車両の左前部分がガードレールに接触し、車両バンパー部を損傷させた。

【事故発生原因】

・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火) 12 時 55 分			天候	小雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	バックホウの損傷	
事故概要	バックホウで盛土材を配土していたところ、ほぐした土砂で足場が不安定になり、法肩から転倒させたもの。				

事故発生状況



- ・盛土を延伸する作業で余盛土をほぐしながら土砂を振っていたが、ほぐしすぎてしまい、**足場が不安定**になっていた。
- ・足場が不安定な状態からバックホウを動かしたところ、転倒した。

【事故発生原因】

- ・土砂をほぐしすぎてしまい、足場が不安定になってしまったこと。
- ・誘導員をつけずにオペレータが作業してしまったこと。

【事故防止のポイント】

- ・作業の進捗状況の確認を徹底。
- ・重機の運転は誘導員の合図に従う。 など

発生日時	平成 22 年 5 月 10 日 (月)	11 時 0 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	19	作業員	左足膝上開放骨折
事故概要	支持杭をとりまとめるため、クレーンにより吊り上げ吊り下ろし作業を行っていたところ、玉掛けワイヤーの先端フックが吊り荷に引っかかり、作業員の方向に倒れてきて負傷したもの。			

事故発生状況



・橋脚足場架台の支持杭を引き抜いて三段にまとめる作業を行っていた。

・被災者と吊荷の反対側にあった吊ワイヤーの先端フックが吊荷の下フランジに引っ掛かりそのまま巻き上げられた為、吊荷が被災者の方向に倒れてきて、左足膝の上部を挟まれた。

・玉掛作業は二人一組で行っていたが、作業指揮者(合図者)の合図を待たずに、オペレータに合図を出し、オペレータもクレーンを動かしてしまった。



【事故発生原因】

・作業員が手順どおりに玉掛作業をしていなかったため。

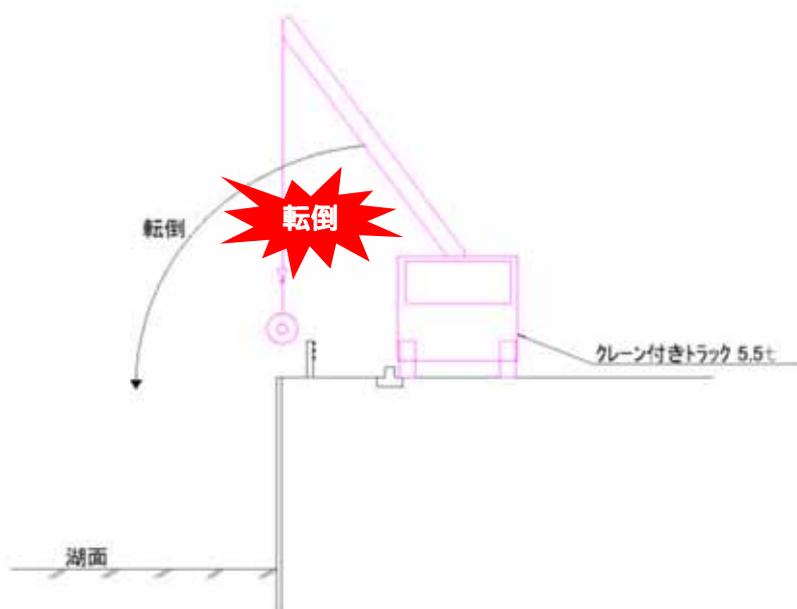
【事故防止のポイント】

・作業手順について作業員に周知・徹底する。
・単独作業の禁止。

など

発生日時	平成 22年 5月 17日 (月) 11時 40分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	転落防止柵損傷	
事故概要					

事故発生状況



・湖面にある流木を小型移動式クレーンにて吊上げ集積する作業を行っていた。

・流木を吊上げた状態で、後方へ旋回する際に、**急激なアクセル操作**をしたため、吊り荷が大きく揺れ、**クレーンがバランスを崩して転倒・落水**した。



クレーンの引き上げ作業状況



引き上げられたクレーン

【事故発生原因】

・クレーンの誤操作によるもの。

【事故防止のポイント】

・作業員に対して建設機械の使用法の指導・徹底。
・吊り荷の重量に見合うクレーンの選定。

など

発生日時	平成 22年 5月 18日 (火) 10時 0分			天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	埋設サーバ用電源ケーブル切断	
事故概要	山留親杭 (H鋼200×200) を打設するために、オーガードリルにて掘削中に埋設サーバ用電源ケーブルを切断したものを。				

事故発生状況



損傷状況

・事前に試掘をして、ケーブルを確認していたのにも関わらず、**事故箇所の調査図には配管がないと誤記していた。**

・また、**埋設管表示をしていなかったため、施工時に注意することなく、誤記にも気がつかず**なかつた。

【事故発生原因】

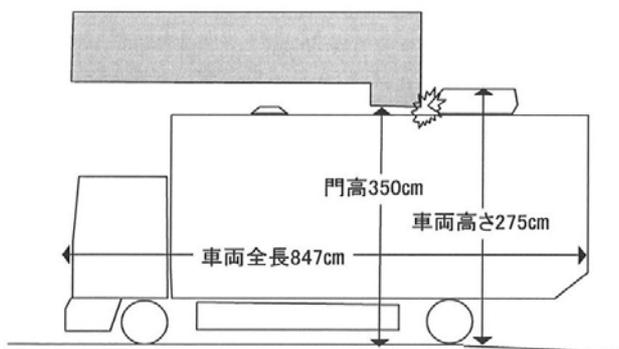
・工事関係者間での情報共有不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・工事開始前の工事関係者間での情報共有。
 ・地下埋設物がある箇所については、埋設表示を行うなど、作業員への注意喚起を徹底。 など

発生日時	平成 22 年 6 月 11 日 (金) 18 時 00 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	災害自然体験車損傷		
事故概要	災害自然体験車が事務所車庫に入庫しようとした際に、車庫入り口上部に接触し、車両屋根部に設置してあったヒートポンプカバーを損傷させたもの。		

事故発生状況



車庫入口



損傷状況

【事故発生原因】

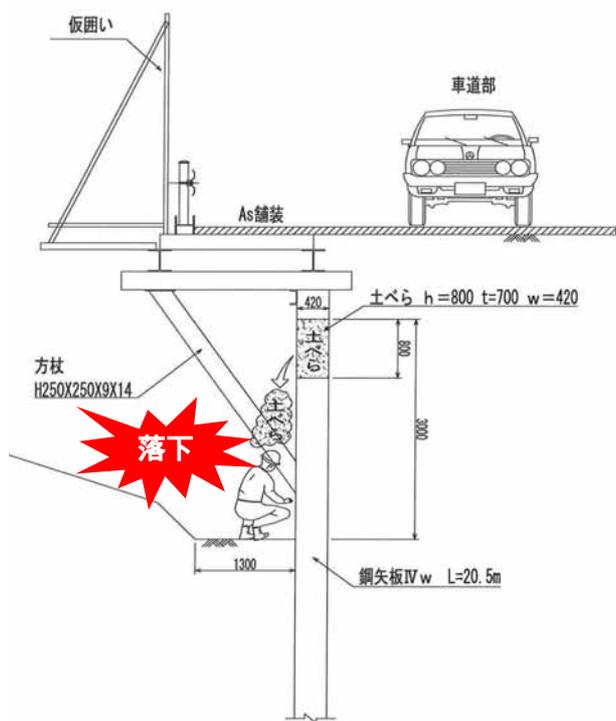
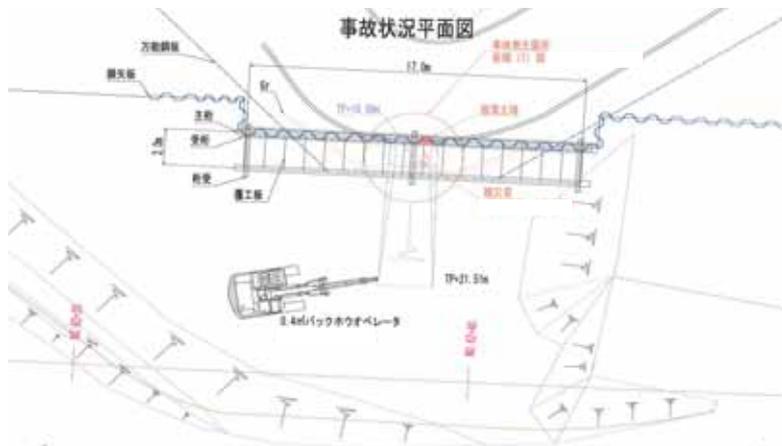
・運転手・誘導者の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22年 6月 16日 (水) 13時 45分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	58	作業員	胸椎骨折	
事故概要	ブラケット鋼材と鋼矢板の本溶接作業中に、鋼矢板の土べら(0.1m3程度)が作業員の頭上方向にて崩れ落ち、負傷したもの。				

事故発生状況



現地状況

【事故発生原因】

・土べらを十分に落としていなかったため。

【事故防止のポイント】

・作業手順について作業員に周知・徹底する など

発生日時	平成 22 年 6 月 23 日 (水) 11 時 45 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	駐車場からバックで出庫する際に支柱に衝突し、車両を損傷させたもの。				

事故発生状況



接触した石柱



損傷状況

【事故発生原因】

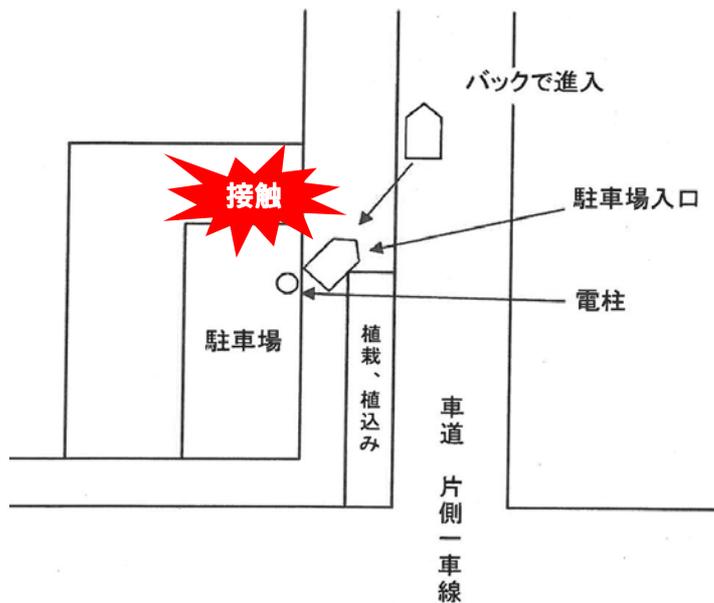
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 6 月 28 日 (月) 15 時 30 分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	車両管理業務にて目的地に到着し、駐車場にバックで進入していたところ、電柱に接触し、車両を損傷させたもの。				

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

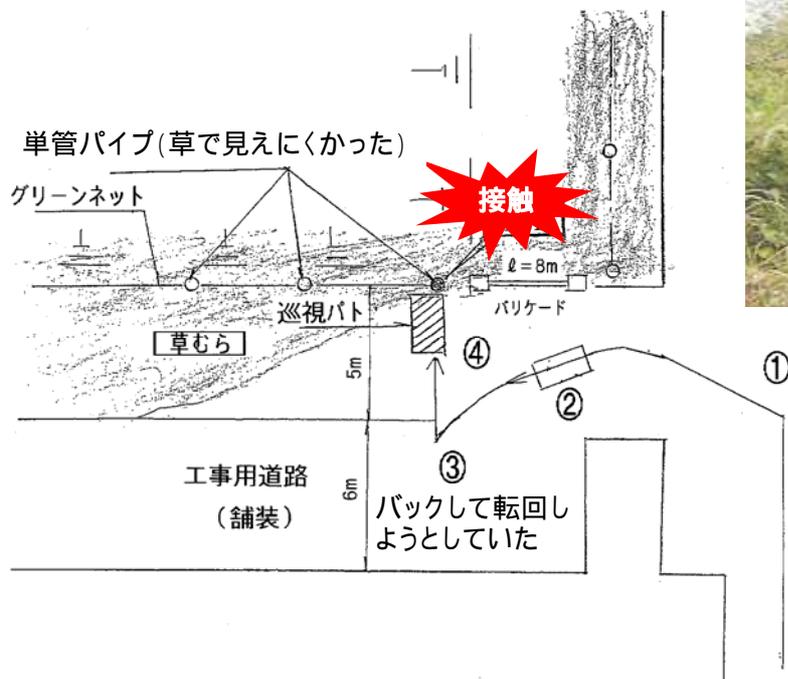
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22年 7月 22日 (木) 10時 50分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	パトロールカー損傷		
事故概要	河川巡視中にパトロールカーを転回していたところ、単管パイプに接触し、パトロールカーを損傷させたもの。		

事故発生状況



接触した単管パイプ



損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22年 7月 26日 (月) 14時 0分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	パトロールカー損傷		
事故概要	河川巡視中にパトロールカーにて倒木した木の下を通ろうとしたところ、車のスポットライトに接触し損傷させたもの。		

事故発生状況



・前回の巡回時に倒木を発見したが、木をよけて通行していた。
(後日撤去することが決まっていた)

・今回の巡回においても木をよけて通行できると思い、通行しようとしたところ、接触したもの。



損傷状況

【事故発生原因】

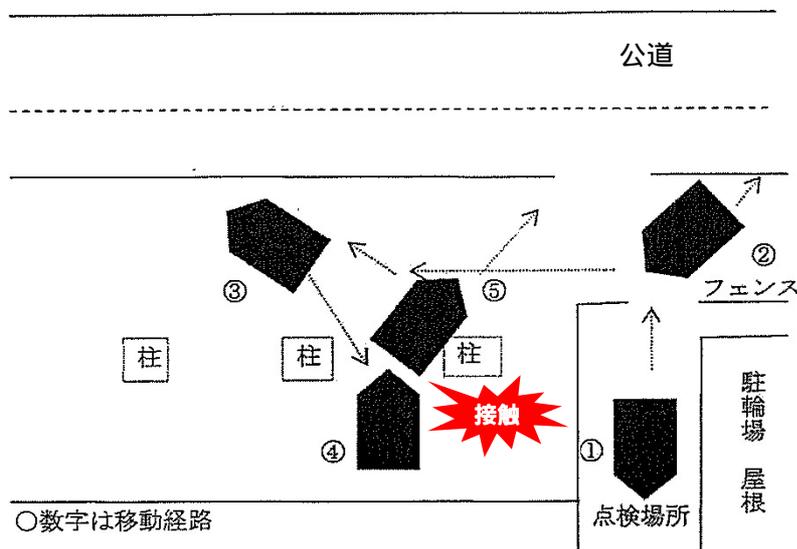
- ・運転手の思い込みによる運転操作によるもの。
- ・注意箇所を走行する際の安全確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
 - ・通行の可否について、降車して周辺の状況を確認する。
- など

発生日時	平成 22 年 7 月 26 日 (月) 17 時 35 分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	衛星通信車を点検先から回送する際に、向きを変えるため転回を行っていたところ石柱に接触し、車両を損傷させたもの。		
	衛星通信車損傷		

事故発生状況



・車両は の場所に前方から駐車していた。
 ・公道の交通量が多く、前方から出ようと、車両を転回していたところ、柱にぶつかり車両を損傷させたもの。



損傷状況

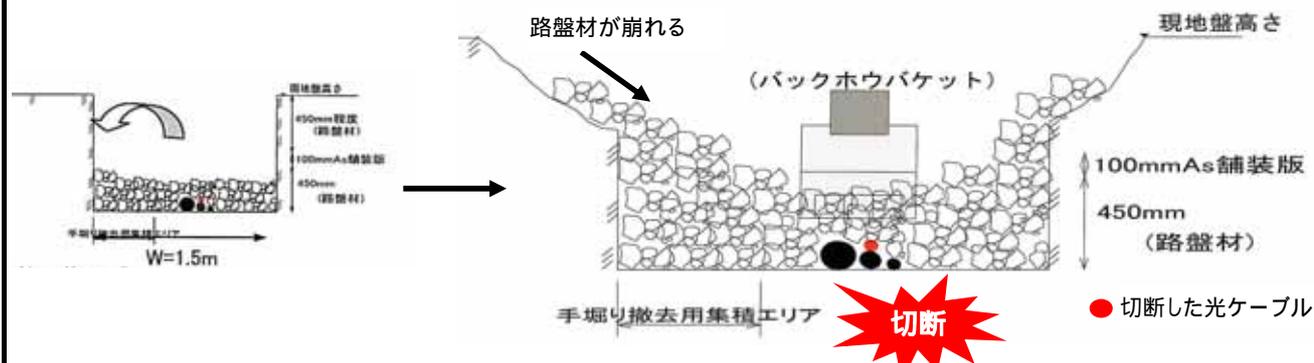
【事故発生原因】
 ・運転手の右側確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】
 ・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 9 月 4 日 (土) 1 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	光ケーブル損傷	
事故概要	埋設管掘削中に崩れて堆積した路盤材をバックホウにて除去しようとしたところ、光ケーブルを切断してしまったもの。				

事故発生状況

- ・ケーブルの移設工事を行っていた。
- ・埋設管の位置、土かぶりは確認していた。



- ・当初、人力及び電動ピックにて掘削を行っていた。
- ・しかし、路盤材が崩れてきたため、再度管路直上の掘削作業を行うことになった。
- ・作業量が多くなったため、オペレーターの判断でバックホウを使用してケーブルを切断させてしまった。



損傷状況

【事故発生原因】

・地下埋設物を確認するまでは人力掘削を行うことにしていたにもかかわらず、バックホウを用いて作業を行ったこと。

【事故防止のポイント】

- ・作業手順について作業員に周知・徹底する。
 - ・地下埋設物が想定される箇所・周辺では不用意に重機は用いない。
- など

発生日時	平成 22年 9月 15日 (水) 14時 0分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 プレストレストコンクリート工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	52	作業員	右前腕挫滅創	
事故概要	脱枠作業においてベビーサンダーで型枠を切断していた際に、作業員が右腕を負傷したもの。				

事故発生状況



・小口型枠解体中に、合板型枠をベビーサンダーで小さく切断しようとしていた。

・ベビーサンダーの回転刃が鉄筋に接触し、その弾みでベビーサンダーが跳ねて作業員の右手に当たり負傷した。

【事故発生原因】

・作業手順書の不履行によるもの。(作業手順書にはパール、糸鋸を使用することになっていた。)

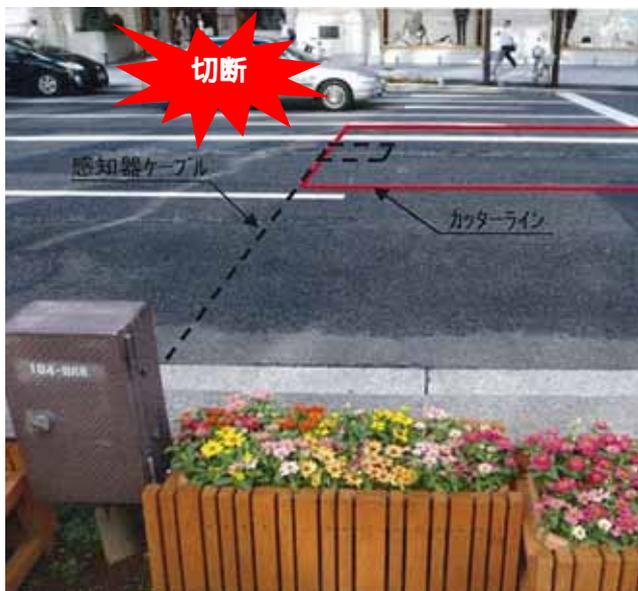
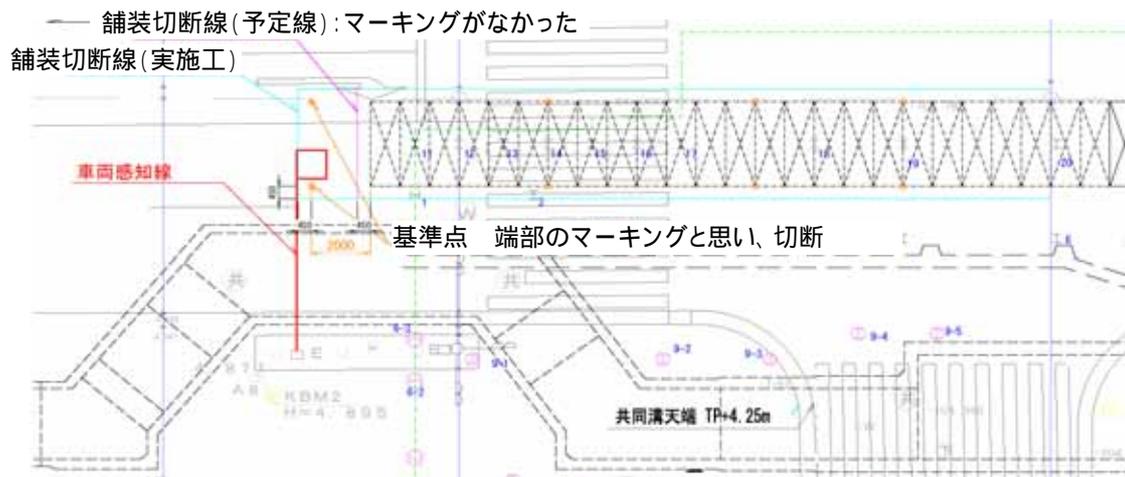
【事故防止のポイント】

・作業手順について作業員に周知・徹底する。
・作業員に対して用途に応じた工具の使用を徹底する。 など

発生日時	平成 22 年 9 月 15 日 (水) 23 時 30 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	車両感知器ケーブル損傷	
事故概要	舗装切断作業中にケーブル(警察の車両感知器)を切断したもの。				

事故発生状況

・覆工版を敷くために、ピンクの点線を切断する予定だった。



・切断位置の現地マーキングを誤った。

・当日作業員はケーブルがあったことを認識しておらず、後日感知器管理者よりデータが欠測していることで、切断が発覚した。

【事故発生原因】

・工事関係者間での情報共有不足によるもの。
・舗装切断の作業手順が明確になってなかったため。

【事故防止のポイント】

・作業中の工事関係者間での情報共有の徹底。
・作業手順について作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22 年 10 月 5 日 (火)			13 時 30 分	天候	晴
工事情報	公園系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	チェーンゲート及び官用車損傷		
事故概要	公園の駐車場の進入する際に、チェーンゲートに接触し、チェーンゲート及び官用車を損傷させたもの。					

事故発生状況



・駐車場の入口にチェーンゲートがあり、通行する際は、1台ずつチェーンが下がり、通行できるようになっていた。

・事故当時、前車があり、ゲートを通過したのを確認。
・チェーンが下がっていたので、続けて通れると思い、通過したが途中でチェーンが上がってきて接触した。

チェーンゲート



車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の思い込みによる運転操作によるもの。
(チェーンゲートを2台続けて通過できると勘違いしていた)。

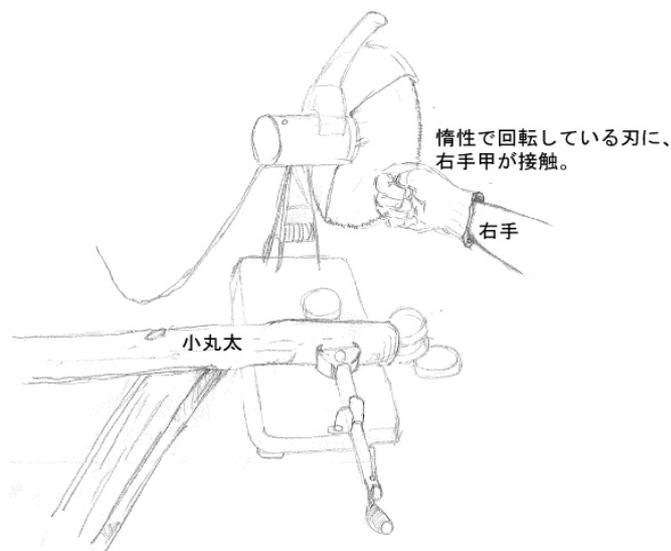
【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

など

発生日時	平成 22年 10月 6日 (水)			15時 43分	天候	晴
工事情報	公園系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	59	作業員	右手甲裂傷		
事故概要	コースター作成のため、丸太を丸鋸でスライスしていたところ、作業員の手が接触し負傷したものの。					

事故発生状況



・園内の発生材(枯損木・太枝等)で小丸太(6cm)を1cmの厚さにスライスする作業(イベント配布用のコースター作成)を行っていた。

・作業が終了し電源を切った後、惰性で回転していた卓上用丸鋸の回転刃に誤って右手の甲(中指・薬指・小指)を当て負傷した。



使用した丸鋸

【事故発生原因】

・使用機械の取扱方法、危険性の周知徹底不足。

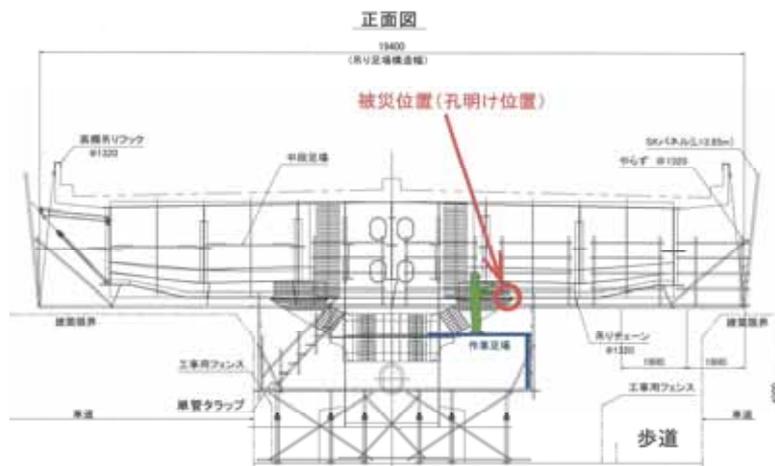
【事故防止のポイント】

・作業手順及び使用機器の取扱方法について作業員に周知・徹底する。

など

発生日時	平成 22年 10月 7日 (木) 10時 0分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	39	作業員	右中指不全切断	
事故概要	補強部材に孔明け作業中、孔明け機械に作業員の手が巻き込まれて負傷したものを。				

事故発生状況



- ・孔明け機械を使用して補強材への孔明け作業を行っていた。
- ・孔明けにより発生した細かい切削屑を孔明け機械の刃よりウエスを用いて除去しようとした際、ウエスが回転する刃に巻き込まれ、同時に右手も巻き込まれ負傷した。

【事故発生原因】

- ・使用機械の取扱方法、危険性の周知徹底不足。

【事故防止のポイント】

- ・作業手順及び使用機器の取扱方法について作業員に周知・徹底する。

など

発生日時	平成 22 年 10 月 20 日 (水) 11 時 20 分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	現場にて方向転換を行おうとした際に、家屋基礎に接触し官用車を損傷させたもの。				

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

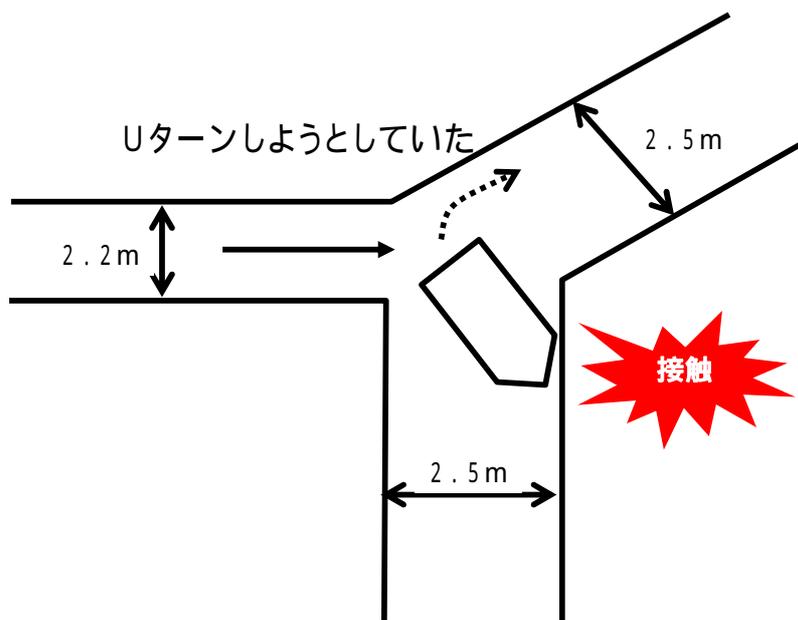
・運転手の周囲確認不足。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 10 月 25 日 (月) 14 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	官用車損傷		
事故概要	現場にて方向転換を行おうとした際に、コンクリート擁壁に接触し、官用車のバンパーを損傷させたもの。		

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の周囲確認不足によるもの。

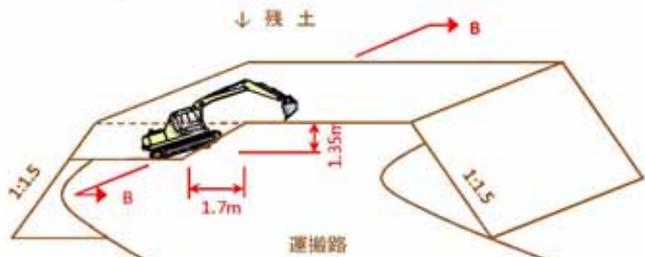
【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 10 月 27 日 (水)	14 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	-
事故概要	残土仮置き場にて土砂積込運搬作業をしていたバックホウが、法肩より横転したもの。			

事故発生状況

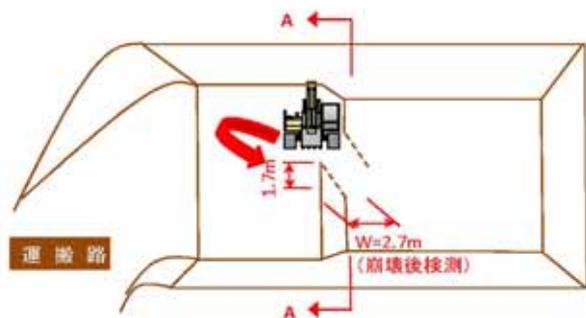
A-A 断面



B-B 断面



平面図



・残土仮置き場にて 0.7m³バックホウでダンプトラックに積み込み作業を行っていた。
 ・移動中、路肩が崩れ、バックホウはバランスを崩しゆっくりと横転した。



【事故発生原因】

- ・誘導員を配置していなかった。
 (労働基準監督署より是正勧告書 <安衛法第20条、安衛則第157条>)
- ・重機経路の幅員が狭く、路肩明示がなかった。 など

【事故防止のポイント】

- ・誘導者の配置、及び合図等誘導方法の確認。
- ・路肩明示を行う。 など

発生日時	平成 22 年 11 月 5 日 (金) 14 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	官用車で空き地にてUターンしようとしたところ、コンクリート片に接触し、官用車を損傷させたもの。				

事故発生状況



コンクリート片があった場所



コンクリート片



車両損傷(左前部バンパー)

【事故発生原因】

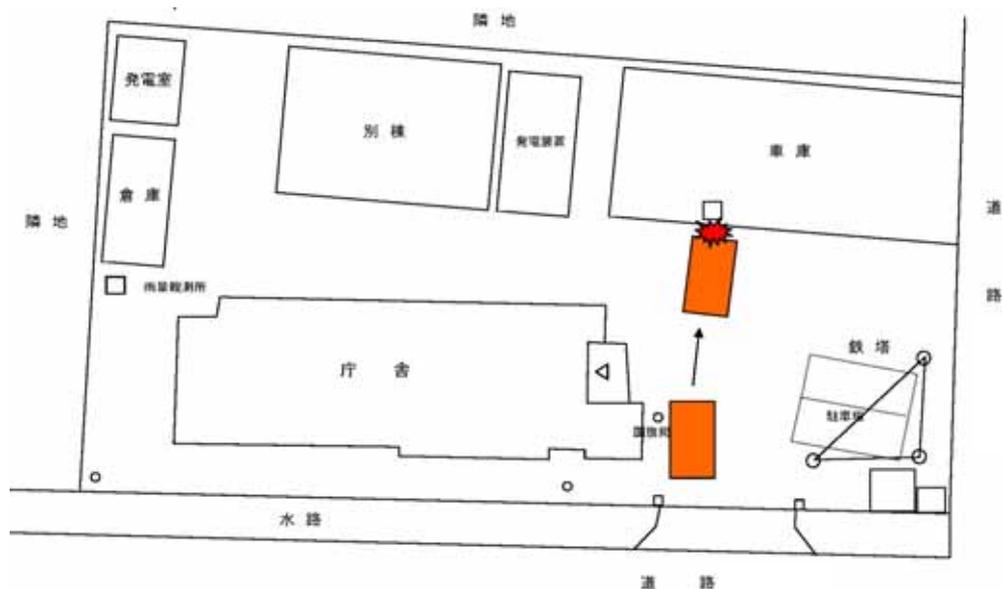
- ・運転手の周囲確認不足。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底
- ・草むらなど支障物の目視が困難な場所には不用意に立ち入らないこと。
など

発生日時	平成 22 年 11 月 22 日 (月) 16 時 5 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 業務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	河川巡視後、車両を車庫に入庫する途中に、車庫の柱に接触し官用車を損傷させたもの。				

事故発生状況



(接触事故発生場所)



(車両損傷箇所)

【事故発生原因】

- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など

発生日時	平成 22 年 12 月 16 日 (木) 15 時 5 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	官用車損傷 駐車場に止めようとした際に、車両が手すりに接触し損傷させたもの。		

事故発生状況



駐車場



接触した手すり



車両損傷状況

【事故発生原因】

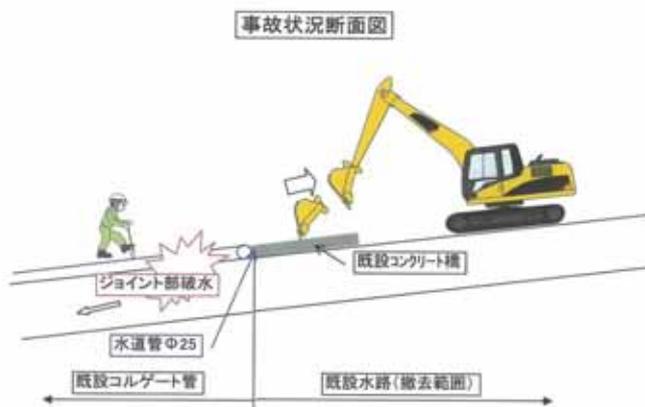
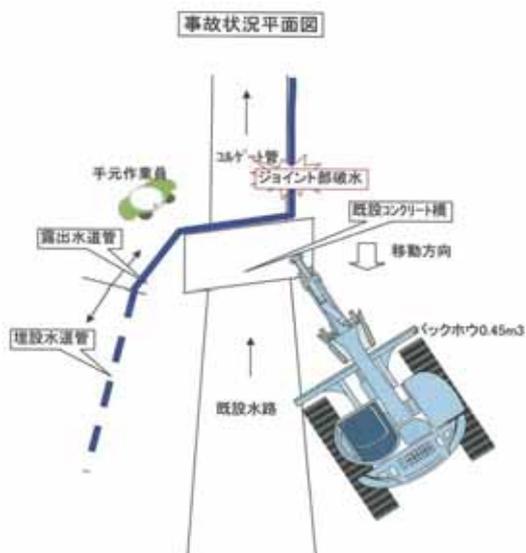
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・降車して周囲を確認し、支障物を把握する。
など

発生日時	平成 22年 12月 22日 (水)	8時 45分	天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	水道管損傷(断水3軒、断水時間1時間45分)
事故概要	既設構造物撤去作業中、水道管(露出管)を破損させたもの。			

事故発生状況



・既設水路撤去作業において、既存コンクリート橋を、バックホウで引きずる際、隣接していた水道管も一緒に移動してしまい、付近のジョイントが抜け破水した。

ここのジョイントが抜ける

現場状況

【事故発生原因】

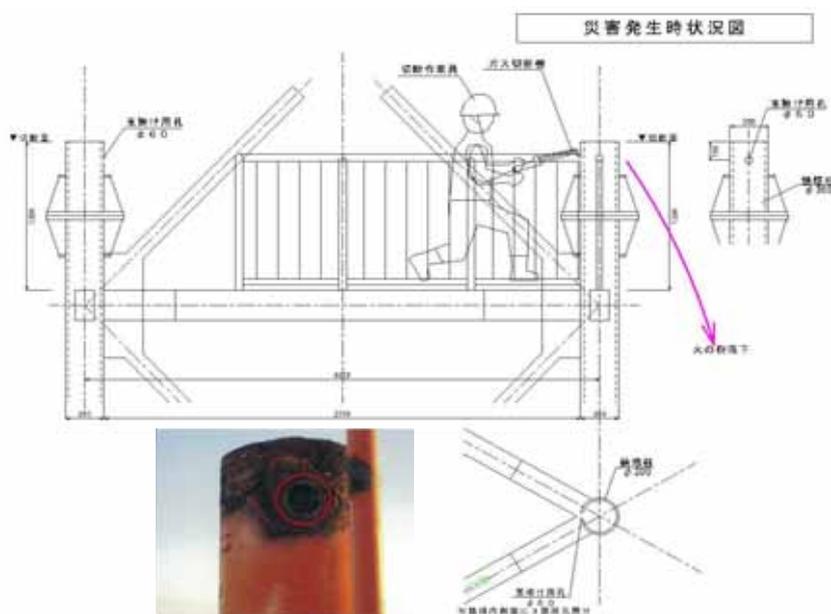
・水道管の配管状況を十分確認せずに作業を進めたため。
など

【事故防止のポイント】

・事前に作業箇所周辺の状況を確認し、配管等は損傷させないよう保安措置を講じたうえで作業に取りかかる。
など

発生日時	平成 22年 12月 23日 (木) 11時 57分			天候	晴
工事情報	管繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	草地約300m ² 消失	
事故概要	鉄塔解体作業にて、鋼管柱に玉掛け用の穴をガスバーナーにて開ける作業を行ったところ、火花が地上に落下して枯れ草に引火し、延焼させたもの。				

事故発生状況



フックを引っ掛けるための穴

・鉄塔上部にて鋼管柱をガス切断後、クレーンにて吊り下ろす作業を行っていた。

・そのため、鋼管柱頂部付近にフックを引っ掛けるための穴をガスで開ける必要があった。

・途中、1箇所穴あけ作業を忘れたことに気付き、独断で養生をしないでガスにより穴明け作業を行った。

・その際、火の粉が落ち、地上の雑草に引火して火災が発生した。



解体作業の状況



延焼箇所

【事故発生原因】

・周囲に火花が飛び散る作業において、養生をせずに作業したため。
など

【事故防止のポイント】

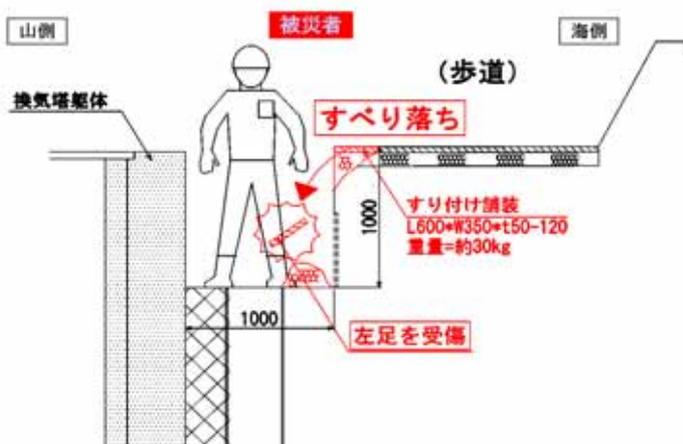
・火気使用時の防火措置の実施。
・作業関係者への作業手順の周知・徹底。
など

発生日時	平成 23年 1月 8日 (土)			1時 30分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	41	作業員	左足脛骨開放骨折		
事故概要	すり付舗装撤去、掘削、埋戻しの作業中、掘削端部の舗装片が作業員の足に滑り落ちてきて負傷したものの。					

事故発生状況



・歩道部路面復旧のため、覆工桁の撤去後にバックホウですり付舗装の撤去、掘削、埋戻しを行った。
 ・重機でとりきれなかった舗装片を除去するため、作業員が埋戻し面に降りたとき、すり付舗装の一部が碎石とともに作業員の足に落ちてきて負傷した。
 ・重機作業ですり付舗装に亀裂が入り、また、地山が緩んでいたことから落下したものの。



【事故発生原因】

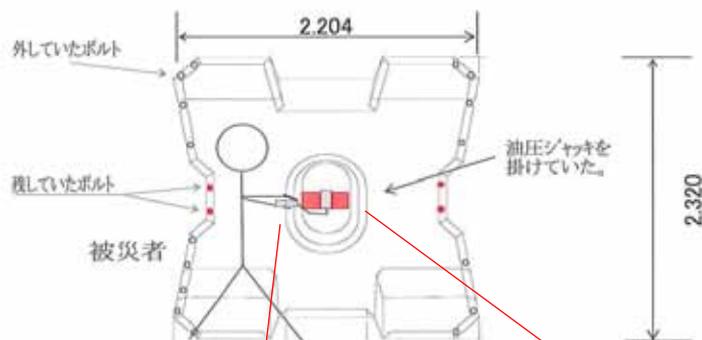
- ・作業員が地山の状態を確認せずに、掘削面に降りて作業を進めたため。
- ・舗装片等の落下の危険性が作業手順に反映されていなかったため。

【事故防止のポイント】

- ・作業箇所の地山の状態等、安全を確認したうえで作業に着手する。
- ・作業進捗により変化する現場状況にあわせて危険を想定し、作業手順を立案する。

発生日時	平成 23年 1月 11日 (火) 11時 50分			天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	35	作業員	腰椎破裂骨折、腰椎横突起骨折、腰椎棘突起骨折	
事故概要	根固ブロックの型枠を脱型するため、油圧ジャッキを使用して作業していたところ、型枠が転倒し、作業員に接触し負傷したものの。				

事故発生状況



・型枠のセンター部分のボルト4本を残して、油圧ジャッキにより剥離作業を実施していたところ、型枠が転倒した。
その際、型枠が作業員に接触し負傷した。



【事故発生原因】

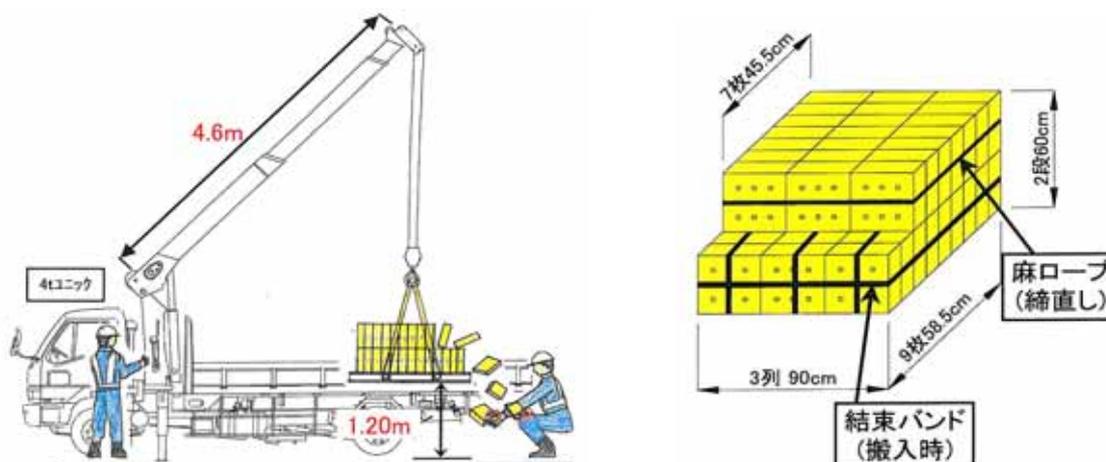
- ・型枠が転倒しないようにクレーンで吊っていなかった。
 - ・型枠の転倒範囲内で油圧ジャッキを操作していたため。
 - ・ボルトの締め具合の確認をしなかったため。
- など

【事故防止のポイント】

- ・型枠の転倒等危険の恐れがある場合は転倒防止措置を講ずる。
 - ・作業時は転倒範囲を立入禁止とし、安全離隔距離を確保する。
 - ・作業手順について作業員に周知・徹底する。
- など

発生日時	平成 23 年 1 月 13 日 (木) 20 時 40 分			天候	曇時々晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種		
	男	64	作業員	右手小指切傷、右足大腿部切傷	
事故概要	クレーン付トラックにて点字ブロックを積み込み作業中に荷崩れを起こし、落下した点字ブロックを受け止めようとした作業員に接触し負傷したもの。				

事故発生状況



- ・資材置き場にて点字ブロックをクレーン付トラックの荷台へ積込作業を行っていた。
- ・吊り荷作業中に荷崩れを起こし、作業員が落下する点字ブロックを受け止めようと咄嗟に手を出したため、手と足を負傷したもの。
- ・点字ブロックは納品時に梱包された状態であったが、前日の作業で使用した際に梱包が解かれており、当日は麻ロープで結束した。



事故発生位置



事故発生時使用したユニック

【事故発生原因】

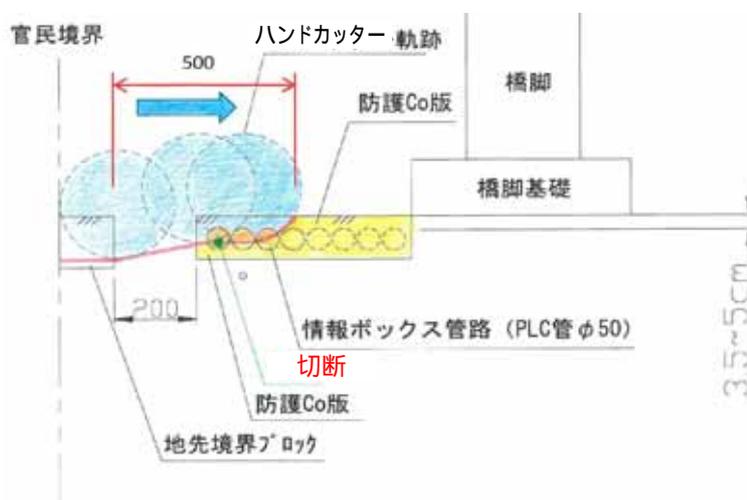
- ・資材の結束不足やバランスを欠いた積載方法など。
- ・吊り荷が落下する際に、安易に近づいたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・玉掛け作業時に吊り荷が安定しているか、荷姿を確認する。
- ・吊り荷が落下する恐れのある範囲には立入禁止を徹底。 など

発生日時	平成 23 年 1 月 13 日 (木) 11 時 57 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	光ケーブル損傷	
事故概要	地先境界ブロックを撤去するため、ハンドカッターで切断していたところ、埋設されていた情報BOX管路の光ケーブルを損傷させたもの。				

事故発生状況



【事故発生原因】

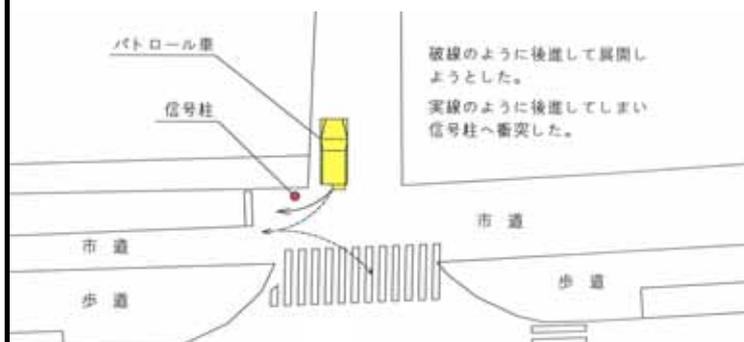
- ・地下埋設物に関する事前確認不足。
など

【事故防止のポイント】

- ・台帳、図面、管理者の立会、試掘等により地下埋設物を確認する。
- ・地下埋設物調査結果と施工箇所の状況を作業前に比較し、見落としがないか確認する。
など

発生日時	平成 23 年 1 月 18 日 (火) 13 時 42 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	パトロールカー損傷	
事故概要	道路巡回中にルートを間違えたため、方向転換して所定のルートへ戻ろうと後退した際に、信号柱に接触し車両を損傷させたもの。				

事故発生状況



現地状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

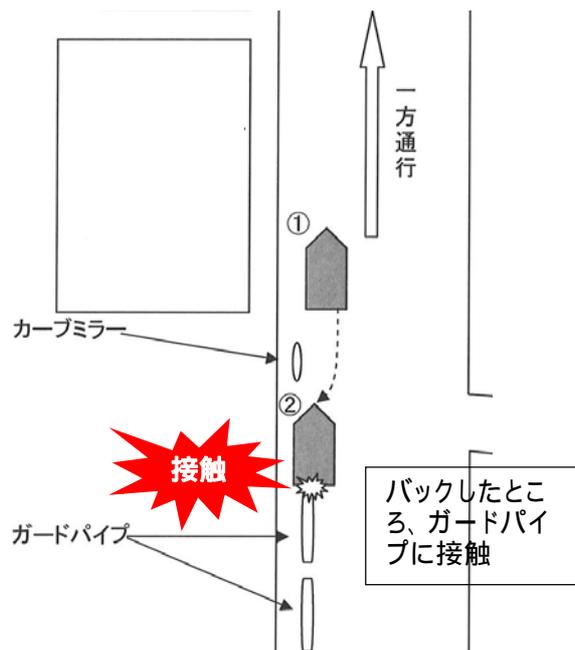
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・無理なく安全に停車、方向転換出来る場所を選択する。
・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。
など

発生日時	平成 23 年 1 月 24 日 (月) 13 時 30 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	車両を移動させようとバックしたところ、後方にあったガードパイプに接触し、車両を損傷させたもの。				

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

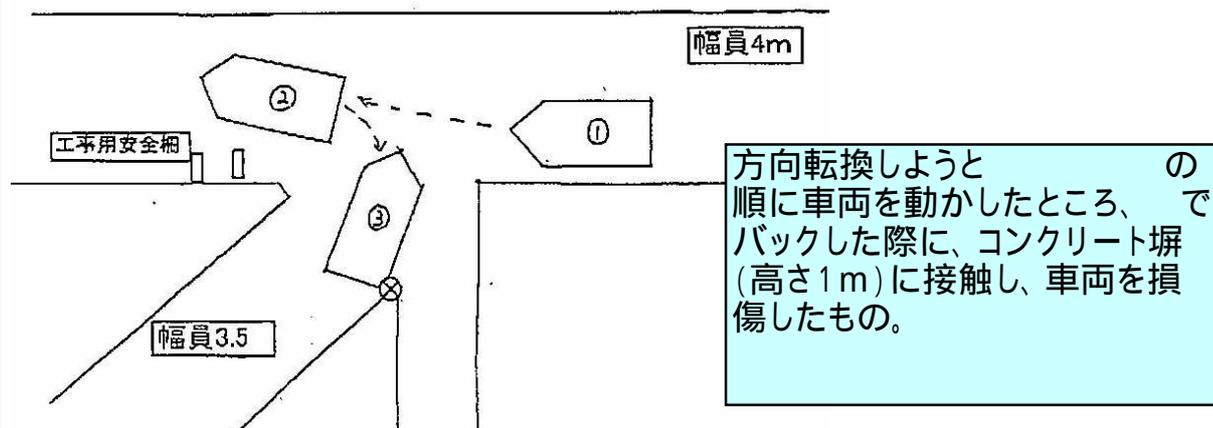
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
 ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など

発生日時	平成 23 年 2 月 1 日 (火) 19 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	車両をUターンさせようとした際に、コンクリート塀に車両を接触、損傷させたもの。				

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

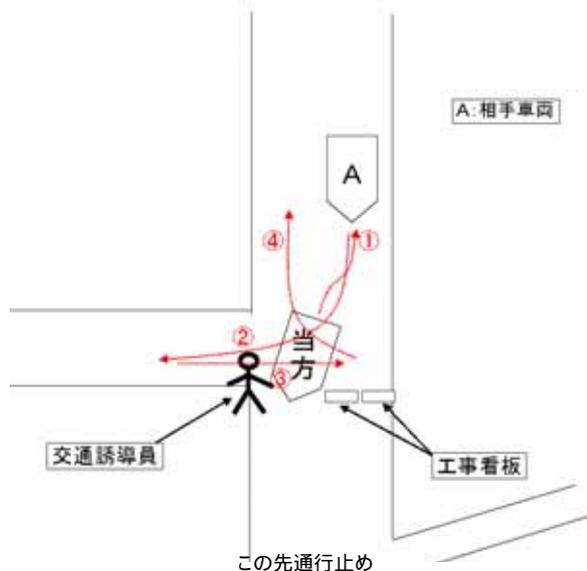
・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
・無理なく安全に停車、方向転換ができる場所を選択する。 など

発生日時	平成 23 年 2 月 15 日 (火)	8 時 55 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	官用車・一般車両損傷
事故概要	用地交渉先へ向かう途中、方向転換のため車両を切り返そうと後退したところ、後続の一般車両に接触させたもの。			

事故発生状況



車両損傷状況

- ・前方が通行止めであったため、～の順序で方向転換をおこなおうとした。
- ・にてバックし際に、後方から来ていた一般車両に気がつかず、接触した。

【事故発生原因】

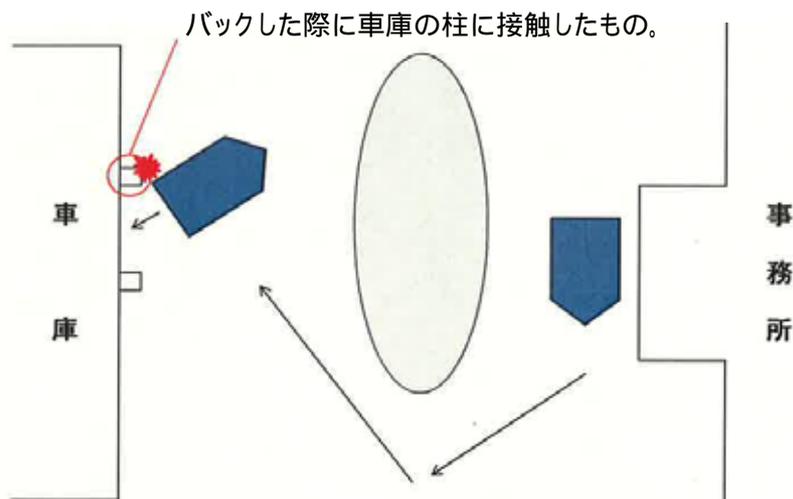
- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。
など

発生日時	平成 23 年 2 月 25 日 (金) 13 時 30 分			天候	晴
工事情報	その他事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	事務所車庫へ車両を入れようとした際に、車庫の柱に接触し車両を損傷させたもの。				

事故発生状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
 ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など

